

社会司牧通信



202605

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★教皇レオ十四世、2026年復活祭メッセージ（ローマと全世界へ）（2026.4.5）



今年の復活祭のメッセージです。「復活祭おめでとうございます。復活して、わたしたちの只中におられるイエスの喜びをすべての人に伝えてください。」パパ様のメッセージに励ましをいただきます。暴力が支配する世に慣れてしまわないように、ともに『平和の君』に祈り、まずは自分のできることを発信していきましょう！

★日本カトリック司教協議会 組織変更について（社会司教委員会） | カトリック中央協議会

2026年4月より、社会司教委員会のすべてのセクション（正義と平和協議会、難民移住移動者委員会、部落差別人権委員会、子どもと女性の権利擁護部門、HIV/AIDS 部門）を統合して、「いのち・平和・人権委員会」（Committee for Life, Peace and Human Rights）となりました。



委員長森山信三司教（大分教区）、担当司教 松浦悟郎司教（名古屋教区）、ウェイン・バートン司教（那覇教区）、エドガン・ガクタン司教（仙台教区）のもと、教会内外の活動ネットワークと連携し、協力し、カトリック教会の福音的価値観に基づいた提言、取り組みを推進されます。

以下は委員長に就任された、4月30日に発信された森山信三司教様のメッセージです。

★「あなたがたすべてに平和があるように」社会司教委員会委員長 | カトリック中央協議会



『わたしたちの国で起きていることが、本当はどこに向かっているのかを見極め、自分の問題として捉え、祈り行動することが、今、混乱野中にある世界の平和のためにできることではないでしょうか。』

【署名にご協力お願いします】

* 平和をつくりだす宗教者ネット

「戦争する国」に反対し、脱原発・共謀罪廃止を求める 要請書（毎月署名できます）

http://www.shukyosha9ionowa.org/news/youbou201706_n1.pdf

* 『（新）憲法9条改悪反対請願署名』

（いのち・平和・人権委員会取り扱いの署名用紙はこちらからダウンロードできます）

https://drive.google.com/file/d/1Yxni_QRzOQ7I6vCiJzVzTCYitedqKGszg/view?usp=sharing

* 『軍拡・増税反対署名』

（いのち・平和・人権委員会取り扱いの署名用紙はこちらからダウンロードできます）

<https://drive.google.com/file/d/1ZxAvtPMiHi-dYsmX1UOTaFBOonMH3JO3h/view?usp=sharing>

* 『ヘイトにNO! 全国キャンペーン』（5月末締切）

【署名】ヘイトにNO! 全国キャンペーン <https://linktr.ee/nohate2026>



★ラウダート・シ週間——Laudato Si' Week | ラウダート・シ部門

5月17日～24日「希望からの行動へ」



『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』(12)「Jesus is everything!」

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)

マコは、鎌倉にあるアルペなんみんセンターという以前は黙想の家だった自然に囲まれた緑豊かな場所を、訪れていた。早朝、庭に出て、木立の下で祈ってみる。1週間前に体験した、瀬川神父の指導のもとで行った自然と共に祈る8日間の黙想会を振り返る。

その黙想会の間、マコが何度も思い出す風景があった。サティシュ・クマールさんという、スローライフを提唱したインド出身のエコロジストが西の街を訪ねてくれた時のことだ。マコはサティシュさんの隣で一緒にカレーを食べる機会に恵まれた。サティシュさんは、マコがカトリックの信者であるということがわかると、トマス・ベリー神父の話をしてくれた。『ラウダート・シ』のメッセージを、それが出される前にすでに言っていた神父なのだという。トマス・ベリー神父さんはこう言ったのだという。「宇宙とは主体性の交わり(コミュニオン)なのだ」と。私たちは他の被造物をただの対象物として見ているけれど、実は風も水も石も、みんな被造物は主体性を持って語りかけているのだ、と。その時、マコの中で、ずっと眠っていた感覚が開いた感じがしたのだ。

そして、時が経ち、瀬川神父のもとで自然と共に祈る黙想会に与りながら、その感覚が研ぎ澄まされていくのを感じた。瀬川神父さんは講話の中で、ティヤール・ド・シャルダンという神父さんの思想について話してくれた。この科学者であった神父さんからトマス・ベリー神父も影響を受けたのだという。ティヤール神父は、宇宙の進化について独特な思想を築いたのだけれど、それは彼の深い信仰、み心の信心に基づいたものだったのだという。ティヤールは、あらゆる生命が、み心によって生かされていること、そしてあらゆる被造物の中にイエスのみ心を見ることができると言った。それを聞いた時、マコの中で、サティシュさんが教えてくれた「宇宙とは主体性の交わりなのだ」という言葉と響きあった。神の慈しみはすべての被造物に注がれ、そしてみ心がそこにあるのだ!!マコのこれからのエコロジーの道、地球を癒していく緑の道をこのイエスのみ心が支えてくれるのだと思った。



マコは木立の下で、聖パトリックの「鹿の鳴き声」という歌を口ずさむ。オーストラリアを旅した時に知ったその祈りの歌は、ケルトの人々にとって自然の恵みの中に神の慈しみを見る歌。

「わたしは今、神の力を身にまとう。星々のエネルギー、太陽の輝き、月の白さ、風の柔らかさ…神はそれらを通して、わたしたちを導き、守ってください…キリストは、わたしのうちに、後ろに、わたしの前に、右に、左に、いずこにもいてくださる…」

口ずさみながら、やはりみ心の信心を大切にしていたアルペ神父の言葉を思い出す。「あなたにとってイエスとは誰ですか?と問われた時に、こう答えたのだという。「Jesus is everything!(イエスはすべてです!)」と。空を見上げると鳥が舞っていた。この空に、風の中に、鳥の中に、私を包むすべての中にイエスはいて、私を導いてくれているのだ。マコの心の中にこだました。Jesus is everything! (つづく)

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日(祝日を除く) 9:00~16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net